

関西医科大学附属病院健康科学センターに通院中の患者さん(又は通院歴のある方)へ（臨床研究に関する情報）

本院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 日韓共同研究：糖尿病患者におけるサルコペニアおよびダイナペニアの有病率比較に関する後方視観察研究

《共同研究の代表機関名・研究代表者》

和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

研究代表者：禹 炫在

《研究の目的》本研究の目的は、日本および韓国の糖尿病患者におけるサルコペニア、ダイナペニア、および肥満サルコペニアの有病率を後方視的に比較し、民族的・生活様式的背景の違いが筋肉量・筋力低下に与える影響を明らかにすること。

《研究期間》研究機関の長の許可日～2026年6月11日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

健康科学センターに通院中の患者様で、2023年1月1日から2024年12月31日の間に糖尿病の治療（検査）を受けた方

●研究に用いる情報の種類

- ✓ 年齢、性別、BMI、喫煙歴および飲酒歴、Charlson Comorbidity Index（CCI）、HbA1c、使用している薬剤、糖尿病に関連する主要合併症の有無、SMI、PhA、握力、SPPB

《情報の利用又は提供を開始する予定日》2025年12月1日

《外部への情報の提供》

収集したデータは、安全なクラウド環境にアップロードし共同利用します。クラウドサーバーはアクセス制限と暗号化通信を備えたものを使用し、研究関係者以外アクセスできないよう管理します。データ共有に際しては、日本・韓国それぞれの個人情報保護法規制を遵守するとともに、欧州一般データ保護規則（GDPR）など国際的指針も参考にしてセキュリティ基準を満たした状態で保存されます。データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。個人情報をも復元できる情報は、本院の研究責任者が保管・管理します。

情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名：関西医科大学附属病院 病院長 松田 公志

情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：和歌山リハビリテーション専門職大学 禹 炫在

提供する情報の取得の方法：既存の診療情報から抜粋

《研究組織》

[研究責任者]

関西医科大学附属病院 氏名：浅野 樹彦

和歌山リハビリテーション専門職大学 氏名：禹 炫在

Bucheon Sejong hospital 氏名：Kim Seyoon

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報等は、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は各研究機関の指針や規程等に基づき各研究機関の所定の委員会等に申請し、その審査と承認を得ています。

* 上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

本院（又は本学）における研究責任者および研究内容の問い合わせ担当者

関西医科大学附属病院

大阪府枚方市新町 2-3-1

電話 072-804-0101（代表）

研究責任者：リハビリテーション科 理学療法士 浅野樹彦